



2024-2025
No.1778
2025.2.6

会長：金井康二 幹事：古池好幸
会員数：50(内2名特別会員) 会場出席：29 欠席：21
出席率：60.42% 前回出席率：89.80%
点鐘：金井康二 会長 司会：赤井幸夫 副S A A
国歌斉唱
ロータリーソング：沼田中央ロータリーの歌 (ソングリーダー：高橋昭紀)
例会会場：ホテルベラヴィータ 3F 12:30～

来訪ロータリアン・お客様

第2840地区第5分区
春日政志ガバナー補佐 (沼田RC)
清野IM実行委員長・木下IM実行委員 (沼田RC)
東京パワーテクノロジー (株) 尾瀬林業事業所
事業所長：平石忠一様 高野様 伊澤様

会長の時間

金井康二 会長



皆さん、こんにちは。2月はロータリーの特別月間のうちの『平和構築と紛争予防月間』です。

皆さんに以前ウクライナに行った時のお話を致しましたが、旅行中には現在のウクライナの状況は全く考えられませんでした。

ユニセフが2024年12月25日に発表した世界の紛争地域は、パレスチナ・ガザ地区、スーダン、ウクライナ、シリア、イエメンなどがあります。

また、ハイチ、レバノン、コンゴ民主共和国などでは、人道危機が発生し多くの子供達が傷つけられ、時には命さえも奪われている状況だそうです。

私たちはさまざまな活動を行っていますが、その中の一つにポリオとの戦いがあります。日本では1980年から野生のポリオウイルスによる新たな患者は出ていませんが、つい最近までポリオがまだ存在する国として、アフガニスタンとパキスタンがありました。そして今回の紛争でガザ地区においてポリオが発症したことは皆さんで存じの事と思います。

私たちロータリーは、過去35年以上にわたりポリオ根絶活動を行ってきました。そして我がクラブでは、会員の一人一人がポリオ根絶のために毎年30ドルの寄付を行っています。

『平和構築と紛争予防月間』という事を考えた時に、ロータリーが世界のために役に立っている事を改めて感じさせられました。

以上で会長の時間とさせていただきます。

幹事報告

古池好幸 幹事



- ①本日例会終了後、理事会を開催致します。
- ②ゆうあい作品展ではお忙しい所、準備や片付けに参加頂いた皆さん、本当にありがとうございました。
- ③地区より、国際大会の案内とガバナー月信2月号発刊の連絡が届いております。
- ④来週は移動例会となります。14日(金)の10時から、利根町の給食センターです。
- ⑤先日行われたバスト会長会で、当クラブの40周年実行委員長が金井利夫君に、実行幹事が宮田美行君に決まりました。

ソングリーダー

高橋昭紀 会員



出席報告

永井 郁 委員





春日政志ガバナー補佐

新年のご挨拶とIMのお願いに参りました。宜しくお願い致します。

金井 康二・古池 好幸

- ①東京パワーテクノロジー（株）環境事業部尾瀬林業事業所、所長平石忠一様、そして会社の皆様、ようこそ我がクラブにお越し下さいました。
- ②1月31日～2月4日まで行われた、ゆうあい作品展の設営及び後片付けに協力して頂いた会員の皆様、お忙しい中誠にありがとうございました。

北野 浩司郎

春日ガバナー補佐そして沼田RCのメンバーの方々、ようこそいらっしゃいました。IMには大勢で参加したいと思います。

本山 佳宏

- ①沼田RCの春日ガバナー補佐、清野IM実行委員長、木下実行委員の皆様を歓迎致します。
- ②東京パワーテクノロジー（株）の平石所長、他の皆様、尾瀬のお話楽しみにしています。

須田 恭弘

本日は東京パワーテクノロジー（株）環境事業部 尾瀬林業事業所の平石所長をはじめグループリーダー高野様、伊澤様に、お忙しい中、卓話を快く受けて下さり本当にありがとうございます。

武井 正男

妻の誕生日に素敵なお花をありがとうございました。

高橋 和朗

本日は東京パワーテクノロジー尾瀬林業事業所長の平石様、高野マネージャー、ガイドも行う伊澤さんをお迎えでき嬉しいです。私もヨッピー橋や東電橋の銘板を作らせて頂きました。それ以来、すっかり山好きになりました。ありがとうございました！

関 美津男

本日は東京パワーテクノロジー（株）環境事業部 尾瀬林業事業所の平石所長をはじめ、皆様のご来訪を歓迎致します。日頃は業務で大変お世話になっております。本日は宜しくお願い致します。



春日政志ガバナー補佐



清野 IM実行委員長

本日の卓話



卓話者紹介 須田恭弘委員長

東京パワーテクノロジー（株）尾瀬林業事業所
平石忠一事業所長・高野様

『この風景を今もこれからも ～尾瀬の守りびと～』

雪深い尾瀬での雪庇落としの動画に始まり、1930～40年代の尾瀬の発電所計画を報じた新聞記事が紹介されました。その後、尾瀬の自然環境が貴重であるとの事から発電所計画はなくなりましたが、今度は多くの観光客が詰めかけ、湿原が踏み固められてひび割れたり、ごみが投げ捨てられたり、設置したごみ箱からごみが溢れたままとなっていました。そこでようやく『ごみ持ち帰り運動』が始まりました。現在では、木道の延伸や補修、森と湿原の回復作業、山小屋の維持管理が継続的に行われ、美しい尾瀬が守られています。

